

2 全体の構成と使い方について

(1) こんなプログラムです

今日、インターネットで検索すれば様々な子育て情報が入手できますし、書店に並ぶ様々な「育児書」からはベストセラーも生まれています。「情報」はあふれています。

一方、子育て事情は各人各様で、Aさんには正しかった子育ての方法が、必ずしもBさんにも有効であるとは言えません。「昔」うまくいった方法が、必ずしも「今日」有効であるとも限りません。

あれもこれもといろいろやってみた挙句、結局「自分のやり方」に帰着する人は多いと思います。

○

「情報の海」のなかで、どの情報が自分に合っているのか、どの方法なら自分にも「すぐに」実行できるのか。それを自ら選び取る力、自分の生活に合わせて自らアレンジする力…つまり、子育てに関して「自ら気づき、学ぶことのできる力」が、今何より親に求められています。

子育てに必要な知識や技術の習得ではなく、自分に必要な知識や技術について、親が「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていただく…それが、このプログラムの目的です。

○

困ったことが起きた時、自分一人で考え悩んで答が見つからなければ、人は誰かに相談するでしょう。

誰かに「話を聞いてもらう」ことで、自分の心が落ち着いたり、話しているうちに自分の中で自然に問題点が整理されて答が見つかったりした経験や、話すことで、「聞いてもらえた」「自分を受けとめてもらえた」という安心感が得られた経験は、誰にでもあると思います。「話してスッキリ！」という体験です。

みんなで寄って、話しましょう…それが、このプログラムの手法です。

○

これから親になろうとする若い世代の方々から、今まさに子育て真っ最中の方々、そして自分の子育ては終わったけれど何らかの形で子育て支援を行いたいという中・高齢層の方々まで、みんなが「寄って、話して、自ら気づく」ための「話のきっかけ」「対話のツール」として、この学習プログラムを開発しました。

○

現代社会のなかで、様々な要因により「孤立」しがちな親も多いと思います。従来から様々に行われてきた公的私的な子育て支援の活動の場に、様々な要因により、参加できなかった（参加しなかった）親も多いでしょう。そのような方も、どうか安心して学習してください。

子育てに「唯一絶対の正解」はありません。「自分一人じゃなかったんだ！」「自分のやり方でも良かったんだ！」と、どうか自分を肯定してください。「なるほどそういうやり方もあったのか！」「そう考えれば気が楽になるね！」と、人の話からしっかり学んでください。そして何より、「おともだち」を増やしましょう！！

「いつでも」「どこでも」「だれでも」使うことのできるプログラムです。子育てに関わる様々な場で、幅広く自由に御活用ください。